

エンタープライズ向け業務アプリをAIで生成する「Platio Canvas AI」本日提供開始 セキュリティ・ガバナンス・システム連携を標準装備し業務システムの内製化をAIで実現 社内データを活用したチャットボットやAIエージェントを実現する「ナレッジDB」も追加

アステリア株式会社（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:平野洋一郎、証券コード:3853、以下アステリア）は、エンタープライズ向けの AI ネイティブ業務プラットフォーム「Platio Canvas AI」の提供を本日より開始することを発表します。

「Platio Canvas AI」は、AI との対話だけで業務アプリケーションを生成・改善できるプラットフォームで、エンタープライズ基準のセキュリティとガバナンス、既存システムとの連携を標準で備え、大企業・中堅企業における業務システムの内製化を支援します。さらに、社内データを集約する新機能「ナレッジDB」によって、社内には存在する様々なデータを基盤にしたチャットボットやAI エージェントなども作成可能となります。

■「Platio Canvas AI」提供の背景

生成 AI の進化により、業務ソフトウェアを「作る」プロセスは大きく変わりつつあります。一方で、企業が実際の業務で使うシステムには、機密データを扱うためのセキュリティやアクセス制御、監査に対応するガバナンス、そして既存の基幹システムとの連携が欠かせません。これらの要件を満たせないため、AI によるソフトウェア開発が試作や個人利用の域にとどまり、全社的な業務システムへの適用が進まないことが課題となっていました。

Platio Canvas AI は、この課題に応えるエンタープライズ向けの AI ネイティブ業務プラットフォームです。AI との対話だけで業務アプリケーションを生成・改善できることに加え、企業システムに求められるセキュリティ、ガバナンス、外部システムとの連携を標準で備えることで、AI による業務システムの内製化を現実的な選択肢とします。

■「Platio Canvas AI」の主な特長（詳細：<https://platio-ai.com/canvas-ai/>）

➤ 対話だけでエンタープライズ向け業務アプリを自動生成

- ✓ AI との対話をもとに、要件定義、コード生成、データベース構築、テストから運用・改善までをワンストップで実行し、最短 3 分で業務アプリを生成。
- ✓ ビルド（生成過程）エラーの自動検知・修復や、チャットでの修正指示にも対応。
- ✓ 生成したアプリは **iOS、Android、Web** に対応し、**PC・タブレット・スマートフォンの画面に自動で最適化**。

➤ エンタープライズ基準の信頼性

- ✓ 暗号化通信、アクセス制御、監査ログを標準装備し、他社データと混在しない環境でアプリとデータを管理。
- ✓ IP 制限や SSO、SAML 認証、独自ドメインでの接続にも対応。
- ✓ 基盤は AWS 東京リージョンで稼働し、高可用性と自動スケーリング、定期的なバックアップにより、業務システムに求められる安定稼働を確保。

➤ 既存システムや外部サービスとの連携

- ✓ MCP^{*1}および API による連携に対応し、Slack、Notion、Figma などの外部サービスとワンクリックで接続。
- ✓ データ連携ツール「ASTERIA Warp」の専用アダプター（10 月提供予定）により、基幹システムを含む社内システムとのデータ連携も実現。

➤ 運用と品質を支える管理機能

- ✓ 生成したアプリの品質スコアリングとレポート、バージョン管理とロールバックに対応。
- ✓ AI クレジットの消費量や生成回数、データ容量はダッシュボードでリアルタイムに把握。
- ✓ マルチ AI に対応し、用途に応じて最適な AI モデルを自動的に選択。

■料金プラン（詳細：<https://platio-ai.com/canvas-ai/#plan>）

プラン種別	Premium		Enterprise	
	年契約	月契約	年契約	月契約
価格（税別）	100,000 円／月	110,000 円／月	200,000 円／月	220,000 円／月
AI クレジット ^注	720,000 クレジット	60,000 クレジット／月	1,440,000 クレジット	120,000 クレジット／月

注：年契約の AI クレジットは一括付与

Enterprise プランは、AI クレジットの追加購入が可能。（追加料金：40,000 円／20,000 クレジット）

■社内データを活かしたアプリ開発を可能にする「ナレッジ DB」の提供

企業における生成 AI の利用シーンは、各種文書の作成や要約にとどまらず、社内文書や業務データなどの社内データを活用する領域へと拡大しています。なかでも、こうしたデータを参照して回答を生成する RAG^{※2}を活用して、自社独自の AI チャットボットや AI エージェントを構築するニーズが高まっています。

一方、RAG 環境の構築・運用には、専門知識が求められるほか、継続的なデータ管理などの運用負荷も伴います。さらに、AI が参照する社内文書やマニュアル、Web サイトなどのデータは、サーバーやクラウドストレージ、業務システムなど様々な場所に分散しているため、これらを収集・統合し、AI による情報参照に最適化された RAG 環境を構築・維持することが課題となっていました。

そこで、アステリアでは社内に分散する様々なデータを集約し、AI が安全で継続的に活用できる連携基盤として「ナレッジ DB」を開発。Platio Canvas AI の全プランで利用できる標準機能として 2026 年 10 月に提供を開始します。

<「ナレッジ DB」機能概要>

Platio Canvas AI の「ナレッジ DB」では、以下 4 つの方法でデータを登録することで、最新の社内データを生成 AI の参照情報として取り込むことが可能です。社内に分散するデータやナレッジを集約・一元化し、RAG 環境の効率的な構築・運用を支援します。

- ✓ PDF、Word、Excel、PowerPoint など各種ファイルをアップロードして登録
- ✓ 指定の Web サイトや FAQ、社内ポータルサイトなどの URL クロール^{※3}による自動取り込み
- ✓ Box、Google ドライブ、Slack など MCP や API に対応する外部サービスと連携し、蓄積されたデータを参照
- ✓ API 経由による外部システムからのデータ一括登録



これにより、Platio Canvas AI で作成する業務アプリや AI チャットボットから、社内データの参照や、設計・作成の支援が可能となります。また、ナレッジ DB によって構築した RAG は、問い合わせ対応 AI や、社内規程・マニュアル検索、営業・提案ナレッジ検索などの多様な業務アプリケーションへの組み込みも可能です。

■ASTERIA Warp 向け「Platio Canvas AI 連携アダプター」の提供

アステリアでは、社内データの活用加速に向け、Platio Canvas AI で作成したアプリに蓄積されたデータと社内システムを連携する、ASTERIA Warp 向け「Platio Canvas AI 連携アダプター」（無料）の提供を 2026 年 10 月に開始します。

このアダプターの提供により、「ナレッジ DB」を含む Platio Canvas AI のデータと、社内の基幹システムやクラウドサービスとの連携を実現。さらに、基幹システムやクラウドサービスに蓄積されたデータを、Platio Canvas AI で活用することも可能になります。

■今後の展開

アステリアでは、Platio Canvas AI が対応する MCP サーバーや外部サービスを順次拡充するなど、AI 活用をさらに促進する機能強化を進める方針です。アステリアは、企業の業務変革と AI 活用を支援し、より高度な業務自動化と生産性向上に貢献してまいります。

※ 1 : MCP (Model Context Protocol) : 生成 AI と外部のデータやツールを安全かつ標準化された方法で接続する共通規格。

※ 2 : RAG (Retrieval-Augmented Generation : 検索拡張生成) : 社内文書やデータベースから必要な情報を検索

(Retrieval) し、その情報を AI に読み込ませて回答を生成 (Generation) させる仕組み。AI が事前に学習していない自社固有のデータや最新情報に基づいた、精度の高い回答が可能となる。

※ 3 : URL クロール : プログラムが指定された Web ページの URL を自動で巡回し、ページ内のテキストや情報を収集・抽出する仕組み。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://jp.asteria.com/>）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品のデータ連携ツール「ASTERIA Warp」は、様々なシステムやサービスをノーコードでつなぐ製品として、1 万社を超える企業が導入しています。また、デジタルコンテンツプラットフォーム

「Handbook X」は資料や動画、Web サイトなどの多様な情報の共有、現場向け業務アプリプラットフォーム「Platio」はノーコードで自社の業務に合ったモバイルアプリを作成・活用することが可能です。さらに、AI/IoT プラットフォーム「Gravio」は現場データの収集・統合・活用までをワンストップで実現しフィジカル AI 領域にも展開。AI ネイティブ業務プラットフォーム「Bakusoku.AI」、企業向け JPYC 入出金管理サービス「JPYC Gateway」、ロボットアプリケーション向け継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」など、自律・分散・協調時代に貢献するソフトウェア等の提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。また、ブロックチェーン推進協会、ノーコード推進協会などの設立に参画するなど、様々なイノベーションを推進し新しいテクノロジーや価値観を普及啓発する活動にも取り組んでいます。

■「Platio Canvas AI」について（Web サイト <https://platio-ai.com/canvas-ai/>）

「Platio Canvas AI」は、業務要件をチャットで伝えるだけで、AI が最短 3 分で業務ソフトウェアを自動生成し、運用・改善まで継続的に支援する AI ネイティブ業務プラットフォームです。企業利用に求められるセキュリティやガバナンス機能を備えるほか、外部システムとのシームレスな連携にも対応。現場での業務アプリ活用から全社展開まで、エンタープライズ企業の AI 活用を支える業務基盤を提供します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：齋藤ひとみ・平木風香

TEL：03-5718-1297 / 携帯電話：080-8168-9391（平木） / E-mail：press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部

TEL：03-5718-1250 / E-mail：platio-pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。